

熱感知器

台所に設置されている熱感知器が火災を検知した場合、インターホンが自動的に鳴動します。警報音とともに、

「火災が発生しました。安全を確認して避難してください。」と鳴ります。

- 火災の場合は、すぐにインターホンの非常ボタンを押し、管理室に通報してください。
- 誤感知やすぐ自分で鎮火できる場合はすぐ処置・鎮火します。
- 警報音停止ボタンを押すと、警報音が止まります。警報音停止ボタンを押さなくても、感知器が復旧すれば停止します。2分以内であれば通報は解除できます。感知器が作動中は警報停止ボタンを押しても鳴りつづけます。

エレベータ

センサーが地震を感じると、最寄り階に停止します。

急に停電になった場合は、エレベータは途中で停止します。10~15秒程度経過後、非常バッテリーが作動し、最寄階に停止します。

ただし、その前の停電から時間が経っていない場合など、バッテリーが十分充電されていない場合は作動できなくなります。揺れを感じたら全ての階のボタンを押し、止まった階で降りるように習慣づけておきましょう。

セキュリティインターホン

緊急時には 非常ボタンを押してください。

管理員室または24時間管理の「ログシステムセンター」に通報されます。管理員室が不在の場合も安心です。

受信した情報により、警備会社が急行し、状況に応じて消防署や警察に通報を行います。

お部屋へ管理室からインターホンで連絡がある場合もあります。



ログシステムセンター

0120-285-789

24時間、365日対応

各種の警報が発生した場合、事故や事件が発生した緊急時の連絡先です。

非常ベル

火災等の非常事態には、非常ベルのボタンを押してください。

非常ベルが鳴っているのを聞いたら、

- 火災等が発生したのかどうか、周囲の確認をお願いします。
- 火災が発生していた場合は、避難をお願いします。
- 避難後に消防署への連絡もお願いします。

止める場合は、非常ベルのボタンを引き戻すことで、鳴動が止まります。



消火器

各階に設置されています。使用方法は

- まず、黄色の安全栓を上方に完全に引き抜きます。
- 次にホースをはずし、火元に向けます。
- レバーを強く握って、できるだけ火元に近づき、手前からホウキで掃くように消火薬剤を放射してください。

■室内で消火活動をする時は、逃げる方向を背にして放射して下さい。

1階

◎ 非常ベルが設置されています。

★ 消火器が設置されています。(廊下側)

■ 上階からの避難ハッチがバルコニーの天井にあります。

